



## なくそう！飲酒運転

苗穂地区では、飲酒運転が原因で起こる交通事故を防止しようと、毎年十二月に飲食店を回る「飲酒運転防止キャンペーン」を行っています。昨年のキャンペーンは、約一時間にわたり、交通安全関係団体の方々約四十人が参加して行われました。

参加者は、五つのグループに分かれ、地区内の飲食店約三十店を訪問。店主や利用客らに交通安全のパンフレットなどを配布しながら「乗るなら飲まない」、「飲んだ人には運転させない」など、飲酒運転防止を呼び掛けました。

飲食店の方々も協力的で、パンフレットを店内に置いたり、独自に看板などを掲示したりして、飲酒運転防止に努める店もあるそうです。

「この運動は約二十年前から続けています。軽く一杯のつもりが事故を引き起こす原因となるので、飲酒



交通事故死ゼロを願う川東さん(右)と小林さん(左)



パンフレットなどを配布しながら飲酒運転防止を呼びかけます

運転は絶対にやめてほしいですね」と同地区で交通安全指導員をしている小林茂夫さんは話します。東区交通安全運動推進委員会苗穂地区会長の川東實さんも「苗穂地区では平成九年から死亡事故ゼロが続いています。今後も悲惨な事故が起こらないように地道に取り組みを続けていきたい」と熱心に話してくれました。昨年六月、道路交通法の一部が改正され、飲酒運転などの悪質な違反に対する罰則などが厳しくなりました。少しくらいなら大丈夫と思っても、飲酒によって判断力が鈍り重大な事故を引き起こす危険性が高くなることを忘れないでください。

◇ 交通事故をなくす特効薬はありません。しかし、交通ルールやマナーさえ守っていれば、防げた事故もあるはず。地域で交通安全に取り組んでいるこうした方々の活動を参考に、交通安全についても一度考えてみましょう。

## 冬型の交通事故に注意！！

札幌のような積雪・寒冷地の冬は、日暮れが早く、夜も長くなるほか、雪や寒さに見舞われて道路状況が急激に変化し、交通事故発生の危険性が高まります。ドライバーも歩行者も、冬特有の危険をしっかり理解し、次のことに気を付けましょう。

### ◇ドライバーの方へ

- ①車間距離を長めに取り、ブレーキを早め早めに操作する。
- ②カーブでスリップすると正面衝突などの事故を引き起こす危険性が高くなるので、カーブの手前ではしっかりと減速し、急ハンドルや急ブレーキを必要としない運転を確実に行う。
- ③遠出をするときには、事前に天気予報や道路情報を確認する。



### ◇歩行者の方へ

積雪・凍結路面では足元が不安定になります。道路を横断するときは十分注意しましょう。

- ①必ず信号機や横断歩道のある所を渡る。
- ②車の直前直後からは横断しない。
- ③横断する前の安全確認は、より慎重に行う。
- ④車が通り過ぎるまで待つ。